

月刊 千葉労働

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.4.26

No.20

〈全人民の怒りの力の前に〉

追いつめられ 来た自民党 追撃戦開始



超陣表明の記者会見をする竹下首相

労働者人民の怒りの前に
竹下は、リクルート社から「一億五千万円」という巨額の政治献金を受け、さらには、軍事費増強―生活破壊の消費税を導入し、労働者人民の怒り、憤慨をかってきたのだ。自民党内部からさえも「退陣要求」が続出し、支持率が激減したにも関わらず「忍の一字」で開き直り、自らの延命を必死に画策していた。しかも、リ社からの政治献金公表後、今度は五千万円の借金をしていたことが発覚。財界からも見離され、打倒されたのだ。

追いつめられ
来た自民党
追撃戦開始



ストなし 春闘打破! 全国で500名が、ストライキに立ちあがる。

ストなし春闘を打ち破り、国鉄労働者は全国各地において四・一三、一七ストライキを闘い抜いた。
動労総連合傘下の動労水戸、動労西日本は、勝田電車区、水戸運転所を中心に十名(水戸)、大阪駅前駐車場(西日本)でストに決起。
また、国労の仲間、九州・北海道の清算事業団を先頭に全国で約五千名がストに決起。当局・権力の弾圧体制を圧倒し闘い抜いたのだ。この決起をさらに本格的闘いへの突破口とするために全国の仲間と連帯し頑張ろう!

しかし、それと引き換えに、消費税前提の八九年度予算の成立を必死に追求め、中曽根喚問もウヤムヤにしようとしているのである。
なんでこんなことが認められよう!
野党はこうした情勢に對し、「予算だけは柔軟に對応しようとの動き」(四月二五日・読売夕刊)と取りざたされている。そうしたことは人民の怒りに応えることは出来ないはずである。さらに怒りを爆発させ、リクルート疑獄糾明! 消費税廃止をかちとろう!

未来をかけて共に闘おう!
(労働連帯)

十周年記念レセプションでの
来賓の方々のあいさつ

反対同盟・北原事務局長
動労千葉の皆さんとは長い共闘を続けて参りました。動労千葉の十周年を迎えるに当たり、さらなる共闘の決意とお祝いの言葉を申し上げます。

十年前、労農共闘を主張する動労千葉は動労中央本部と「三里塚闘争」などをめぐって、分離・独立の道を正しく選択し、現在に至っています。

とりわけ、この十年間には、分割・民営化の嵐が吹荒れ、これと断固として闘い抜いてきたことは、労働者としての誇りであり、多くの犠牲者を出しながらも今も労働者の先頭で闘い抜いて

ている姿は、人々の共感を生みだしている。

それに引き換え、革マル松崎は、体制側にすり寄り、首切りの先兵となり果てている。多くの人々を自殺に追込み、家庭まで破壊するという罪状は絶対に許されるべきではありません。

三里塚闘争も二四年目を迎え、現地においては攻防の闘いが日々展開されている。政府・空港公団は九〇年大枠概成を目指し、なりふり構わず強行工事をもって農民追い出しに全力をあげている。われわれはこれを許さず断固として闘います。

労農学共闘の旗の下、未来をかけて共に闘い抜くことを申し上げ十周年のお祝いの言葉とします。

